

施設概要

- 敷地面積：868㎡
- 建物面積：311.04㎡（1階248.04㎡、2階63.00㎡）
- 建物構造：木造2階建
- 1階用途：展示ホール、視聴覚室、事務室、トイレ、倉庫 他
- 2階用途：研究活動室、資料保管庫、屋外テラス
- 総事業費：143,841千円
- 竣 工：平成16年2月27日

建物の特徴

- 大断面木構造の建物で、壁は木目や節目を生かした県内産の杉材を使用しています。
- 屋根に設置した太陽光パネルが電力の一部をまかないます。
- 「静岡県福祉のまちづくり条例」の整備基準に適合した施設です。



交通のご案内

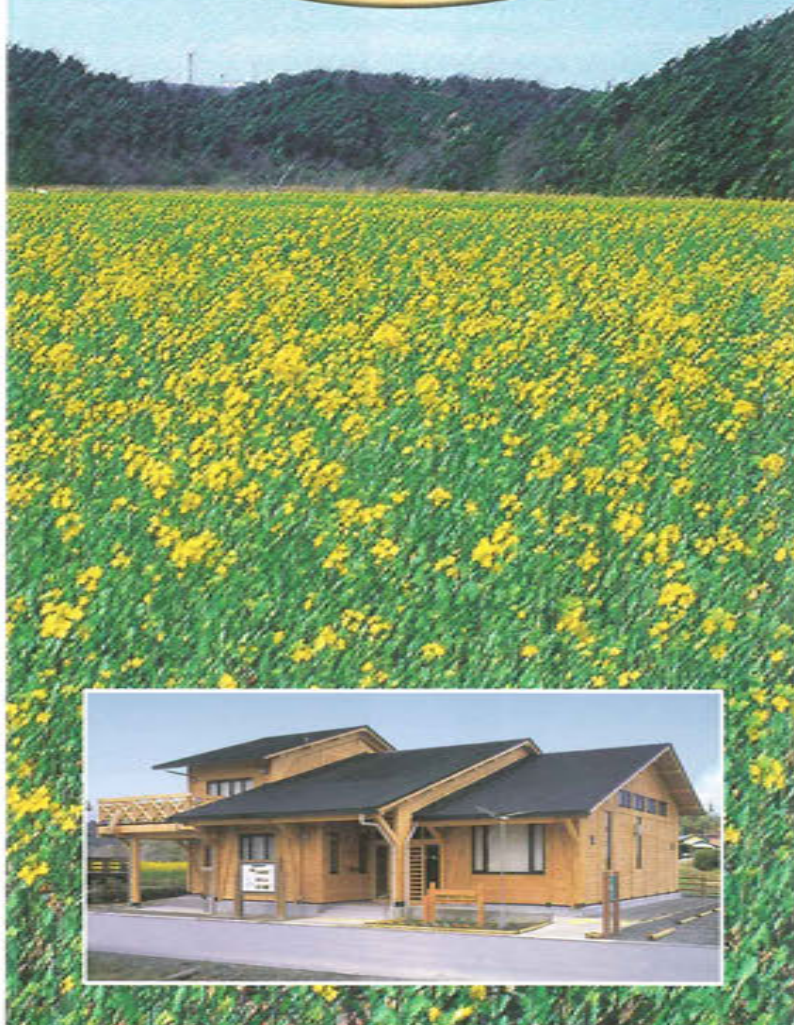
- 東名高速道路磐田I.C.より車で15分
- 磐田バイパス岩井I.C.より車で2分
- JR磐田駅より遠州鉄道「三ヶ野」バス停下車徒歩5分

施設利用のご案内

- 開館時間：午前9時～午後5時
- 入 館 料：無料
- ※研究活動室を使用の際は事前申し込みが必要です。
- 休 館 日：毎週月曜日（祝日の場合はその翌日以降の最初の平日）
- 年末年始は12月29日から1月3日まで

磐田市桶ヶ谷沼ビジターセンター

〒438-0016 静岡県磐田市岩井315
Tel.0538-39-3022 Fax.0538-39-3023



磐 田 市

自然に学び、自然にふれあう。

桶ヶ谷沼ビジターセンターは、桶ヶ谷沼の自然を身近に感じられる場。貴重な動植物をパネルや標本で紹介する展示ホール、学習会や講演会などに利用できる視聴覚室、自然に関する調査研究に適した研究活動室など、自然の素晴らしさや大切さを実感できる設備を備えています。また、自然環境の保護活動や自然体験学習の拠点としての利用も可能です。



トンボモニュメント 彫刻家 中嶋大道作



視聴覚室(1F)

展示ホール(1F)



図書コーナー(1F)



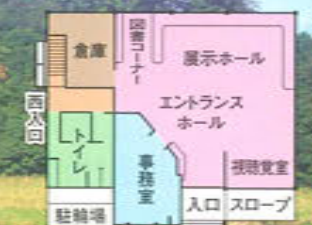
屋外テラス(2F)



研究活動室(2F)



2F



1F

- 平成3年3月29日 桶ヶ谷沼が静岡県自然環境保全地域の指定を受け、保全計画が策定される。
- 平成14年1月30日 保全計画の基本方針が「自然と触れ合う場を提供しつつ自然環境を保全する」と変更される。
- 平成14年3月27日 自然環境保全活動拠点計画「桶ヶ谷沼ふるさといきものふれあいの里」が環境省に承認される。

桶ヶ谷沼で自然に親しもう。

トンボの楽園として知られる桶ヶ谷沼は、かつての磐田によく見られた自然環境がそのままの形で残されています。淡水の沼はトンボなどの水生動物を育て、植物も昔ながらの草花や樹木が生き続けています。水辺や草地にはカモなどの野鳥が生息し、季節によって多くの渡り鳥が飛来します。

豊かな自然が育む貴重な動植物。そのバランスのとれた生命のいとなみを、身近に観察・体験できるのが桶ヶ谷沼の魅力です。あなたも自然とのふれあいを通して、そのすばらしさにふれてみてください。

桶ヶ谷沼一口ガイド

面積:7.43ha 周囲:1.7km 平均水深:約0.6m
トンボ67種、野鳥156種、植物650種の生息が確認されています。

観察施設



観察小屋 (3か所) 休憩所 (2か所)



観察路 解説標識 (5か所) 案内標識 (8か所)

自然環境保全地域での観察のお願い

一度破壊された自然は取り戻すことができません。
ルールを守って観察してください。

- 車は指定の駐車場へ止めましょう。
- 観察をする際は観察路から外れないようにしましょう。
- 大きな声を出さないで、静かに観察しましょう。
- 生きものはとらないで、観察のために必要なときは、観察が終わったらかえす場所にかえしましょう。
- 危険な場所、危険な生きものには注意しましょう。
- ごみは出さないようにし、もし出したら持ち帰りましょう。
- たき火をしたり、タバコを吸いながら観察したりすることはやめましょう。
- カモの観察は観察小屋で。狭い沼にカモがたくさん集まるのは人の出入りが無い静かな環境のためです。写真撮影に沼へまで行くのは禁物。カモは観察する前に驚いて飛び去ってしまいます。



観察小屋 〓
 休憩所 〓
 解説標識 〓
 案内標識 〓
 静岡県自然環境保全地域 〓



鶴ヶ池



桶ヶ谷沼

桶ヶ谷沼で観察できるいきものたち

実際に自分の目で見て確かめて、みんなで桶ヶ谷沼の自然を体験しましょう。

トンボ

活動するトンボの種類は季節や時間によって大きく変わってきます。一般的には活動がさかんな、晴れた日の午前中が観察には適しています。



ベッコウトンボ



ベニイトトンボ



コバネアオイトトンボ

野鳥

沼に生息する野鳥は、一年中いる留鳥、春秋の渡りの時に姿を見せる旅鳥、越冬のために飛来する冬鳥、繁殖が目的の夏鳥など、季節や場所によって観察できる種類が違います。



カワセミ



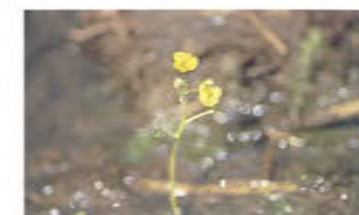
マガモ♂(3羽)と♀(1羽)



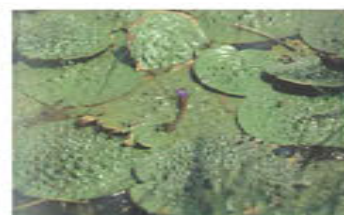
コハクチョウ

植物

水生植物の密生した沼面や沼を取り囲む自然林には多くの植物が見られ、「昔ながらの沼」を奇跡的に現代にとどめている貴重な場所です。



イヌタヌキモ



オニバス



カキツバタ

ビジターセンター

桶ヶ谷沼の自然環境に負荷を与えないよう配慮した施設整備をしています。



太陽光発電パネル



電動アシスト自転車用充電スタンド



雨水貯水槽



電気自動車